

# Tom<sup>48</sup>

富山大学広報誌  
|トムズプレス|

Tom's Press  
Spring  
2019  
Vol.48

## 特集

新入生のための大学生活Q & A  
大学生活ってどんな感じ？

芸術文化学部

平井 伸昌



## 手で考えて身体でつくる シェルター・初源的な空間づくり

芸術文化学部では、図面や模型・コンピュータなどのフィクションの世界に留まらず、現実(リアル)の世界につながる建築デザイン教育に挑戦しています。

その代表的な授業が、建築設計の最初の課題、「シェルター」です。高岡キャンパスの緑地を敷地に、厚さ15mm、幅75mm、長さ4mの地元産のスギ材を100本ほど用いて、数名が雨風をしのぎながら集うことができる空間を、5~6人のグループでデザインし実際に作りあげるといった課題です。

各班とも模型や図面を多く描いて案をまとめ、素材のにおいや厚みなどを感じながら試行錯誤を繰り返し、最終的に原寸大で空間をつくりあげます。この作業を通じ、つくることの難しさと同時に、喜びや感動を身体で感じてほしいと思っています。

(芸術文化学部/准教授 萩野紀一郎)



## TOM'S GALLERY

- 01 縮切り直前の制作風景、様々な空間が登場し、テーマパークのようなキャンパス
- 02 自分たちがつくった空間を実際に体感する
- 03 図面や模型だけでなく、実際にモノをつくることで、素材のにおい・厚み・重さ・質感を体感する
- 04 つくりあげること、モノをつくる喜びと感動を

## 富山大学広報誌 トムズプレス

発行日：平成31年3月20日

発行：国立大学法人 富山大学

編集：トムズプレス専門部会

- 菊池 万里 大学院理工学研究部(理学)教授
- 赤尾 千波 人文学部 教授
- 南部 寿則 大学院医学薬学研究部(薬学)准教授
- 内藤 裕孝 芸術文化学部 講師
- 小泉 桂一 和漢医薬学総合研究所 准教授
- 河野 哲也 大学院理工学研究部(都市デザイン)准教授

問合せ先：富山大学総務部総務・広報課  
〒930-8555 富山市五福3190  
TEL 076-445-6028  
FAX 076-445-6063  
E-mail kouhou@u-toyama.ac.jp

本誌は、富山大学構内などで無料配布しています。郵送を希望される方は、住所・氏名を明記の上、メール又ははがきでお申し込みください。

※お知らせいただいた個人情報は、本誌の発送以外には使用いたしません。

ご意見、ご要望を是非お聞かせください。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。再生紙と大豆インクを使用しています。



無断転載はご遠慮ください。  
印刷・製本 能登印刷株式会社  
ISSN 1880-6678

## Cover Story

ひらい のぶまさ  
“平井 伸昌” 芸術文化学部2年・富山県出身

富山大学 芸術文化学部で学ぶ平井伸昌さん。幼少の頃から(表紙写真下)ノートに漫画を描くことに熱中していた。小3から始めた柔道も高校まで取り組み、高校卒業後、専門学校を経て警察官となった。警察官も幼少からの夢ではあったが、自分が本当に好きなことは漫画や絵を描くことだと改めて気がつき、地元の富山大学に進学。大学で地域連携デザインプロジェクトに参加する中、自分の漫画を描くスキルでコミュニケーションが図れることを発見！デザインの分野は自分の好きな漫画が活かせるんだ！と実感した瞬間だった。「将来はデザイン職に就きたいが分野は未定。色々なことが知れる今が楽しくて仕方ありません！」社会人を経て、迷い、入学した彼。彼の笑顔は今、迷いなく前だけを向いている。

表紙・インタビュー担当/梅村歩実 齊藤朱里  
撮影/梅村歩実 (すべて芸術文化学部生)  
表紙監修/芸術文化学部 准教授 渡邊雅志



Tom's Pressはインターネットでもご覧いただけます。バックナンバーはこちらから！



# 三大学統合のメリットと、 学部の垣根を越えた交流によって 生まれる新時代への展望

富山大学長  
齋藤 滋  
SAITO Shigeru

- 1955年 大阪府生まれ
- 1980年 奈良県立医科大学を卒業  
同大産婦人科学教室入局
- 1984年 奈良県立医科大学大学院医学研究科を修了
- 1985年 医学博士(奈良県立医科大学)
- 1998年 富山医科薬科大学教授(産科婦人科学)
- 2005年 富山大学教授(産科婦人科学)
- 2009年 富山大学附属病院周産母子センター長
- 2011年 富山大学附属病院 副病院長
- 2016年 富山大学附属病院長、副学長
- 2019年 富山大学長に就任



## 富山大学の魅力とは

富山大学は地方大学としては規模が大きく、9つの学部と、和漢医薬学総合研究所(以下「和漢研」という)、附属病院の11部局があります。また、国立大学で唯一の芸術文化学部、昨年新設された都市デザイン学部、和漢研と、全国で富山大学にしかないものが三つもあります。

本年度、ついに教養教育の一元化が実現し、新入生は全ての学部の人たちが五福キャンパスで学ぶことができるようになりました。これにより、各学部の学生や教員間での交流が始まり、三大学が統合した富山大学が、ようやく一つの大学としてスケールメリットを出せるようになりました。

現代は、情報化が進んだことで世の中の動きが速くなっており、一つの分野だけではなく、複合分野で物事が動く社会です。欧米では、既に理系文系の垣根がなくなっています。富山大学でも、文系と理

系の英知を凝集して、一つの新しい学問を作っていたらと考えています。教員間の交流によってできたネットワークをうまく利用していただくことも、大きなメリットになるでしょう。いろいろな学部の教員が混ざり合っ、交流することで1+1=2+αになる。そのαをうまく使えば、今まで解決できなかったことが解決するような新しい答えが見つかり、面白いことができるのではないかと考えています。

富山大学では「地(知)の拠点」として、地元の企業や自治体の方々と協力して、さまざまなプロジェクトを進めています。これも、COC+事業の中間評価で最高評価のS評価をもらうなど、着実に成果を上げています。今後も北陸の経済界の中心を担っていく形で、地域の企業、県内の大学と連携し、独創的なものを作り出したいと考えています。

また少子化の時代には、いかに大学を魅力的にするかが求められます。その取

り組みの一つとして、都市デザイン学部で行われているのが、他学部と連携した課題解決型授業。これは与えられたテーマに対して、いろいろな学部の学生さんがアイデアを出し合い、自分たちで企画立案、解決のための取り組みを行うというもので、実社会と同じことを大学にしながら学習できます。「富山大学の卒業生は即戦力になる」。そういう評価を得られることが期待されています。

## これからの社会に果たす役割

これからの少子高齢化社会で、健康な人生を送っていただくためには、和漢薬が重要になっていくと考えています。それには、和漢研が大きな役割を果たすことでしょう。

また、大きな問題となっているのが認知症。富山大学は、脳神経学の分野で常に日本でトップ10に入っており、優秀な先生方が多数おられるので、認知症対策の研究を進めていただきたいと思います。

総合診療部では山城先生が、地域に出て「健康まちづくりマイスター」を養成しておられます。地域の人たちの中から健康まちづくりマイスターを作って、地域で活躍していただく。元気で長生き、健康寿命を延ばせる富山らしい取り組みになると期待しています。

そのほか、都市デザイン学部と行政がタッグを組んで、高齢化社会に優しい「まちづくり」ができればと思っています。富山県を日本のモデル都市、住んでみたい街一番にしたい。それには、芸術、デザイン、交通機関を総合的に提案することが必要ですが、それが可能となる都市デザイン学部ができたことは、今後の飛躍につながると思っています。

大きな目標は、世界でトップ500の大学に入ることです。国外の大学とも連携していますので、今後は共同研究を進めて成果を上げていきたいと考えています。

## 大学生の皆さんへ

社会に出る前の大学生時代をうまく乗り切るには、友達の存在と、体力作りが大切です。ぜひスポーツ系でも文化系でもいいので、クラブに入りたい。クラブ活動を通して、勉強だけではなく、いろいろな経験で人生を豊かにして欲しいと思います。

また、「講義」と「授業」の違いを意識していただきたい。高校までの授業と違い、講義は自分を磨くためのものです。いわば大人の社会への第一歩。自主性が重要視され、単位認定もシビアですが、逆にそれが面白いこともあります。ぜひ大学生活を楽しんでください。

齋藤学長の趣味って何ですか？



## 釣り糸を垂れるひとときで ストレスから解放

富山に来てから海釣りを始めました。氷見沖にそびえ立つ立山から昇る朝日を見ていると、「釣れなくても満足だ」と思うくらい素晴らしいです。夏には、大学内の釣り部でキス釣り大会をします。釣れた魚を僕の家でさばいて、バーベキューをするのですが、「楽しい」と言ってもらえるのがうれしいですね。

# 大学生生活ってどんな感じ？

## 新入生のための大学生活Q&A

新入生のみなさん新生活が始まりますね。きっと大学生活は戸惑うことも多いと思います。そこで、学年ごとに1日のスケジュールやさまざまな質問に答えさせていただきました。みなさんと近い存在だからこそその新生活に役立つヒントが隠れているかもしれません。



### 都市デザイン学部

材料デザイン工学科1年  
福井 力央さん

1年目

- 出身地：石川県
- サークル：バレーボール同好会
- 居住：アパート
- 通学：自転車
- アルバイト：飲食店
- 昼食：学食・外食派



My Select  
いつものかばんの中身。電卓は必需品なんです。

### 芸術文化学部

建築デザインコース2年  
勝然 美紀さん

2年目

- 出身地：神奈川県
- サークル：陶芸
- 居住：アパート
- 通学：自転車
- アルバイト：家庭教師
- 昼食：学食・外食派



My Select  
授業で作った自作の椅子。家でいつも使っています。



**A2.** 同じ学科の友達はもちろん、他学部や他県の人たちと仲良くなれたことが、一番良かったことです。休日には友達と、カラオケやボーリングに行くこともあります。また、専門分野につながる基礎科目も多くて、自分の好きな分野を思い切り学べるので、「富山大学に入って良かった！」と思いました。

**A3.** 5月に行われた都市デザイン学部の合宿です。合宿中に友達が増えたこと、卵をアルミホイルに包んで、投げても割れないようにする仕組みを苦勞して考えたことは、とても楽しい思い出になりました。また、学科で志賀原子力発電所の見学に行ったことも印象的でした。原発でどのように材料が使われているかを、実際に自分の目で見ることで、いい刺激を受けました。

**A4.** 1年後期の「都市デザイン学総論」です。持続可能な世界を実現するための17の目標「SDGs」に基づき、富山が抱えている課題をどのように解決し、改善していくかを、都市デザイン学部3学科の学生が、それぞれの視点からアイデアを出し合い、一つの案にまとめて発表するというものです。僕たちの班は、富山駅と路面電車のつながりについて着目し、いかに富山駅から総曲輪に人の流れを作るか、ということについて研究しました。他学科の人たちの視点がとても新鮮で、皆で力を合わせて取り組む体験ができ、大きな収穫になりました。

**A5.** 五福キャンパスの学食は1週間ごとにメニューが変わるので、全く飽きることがありません。友達と会話もできて、僕の好きな場所の一つです。

### コレ頑張っています



テストが近くなったり、課題が出たりすると、友達が声をかけてくれて、有志が集まり勉強会をしています。24時間開いているCAD室を使い、週に2回くらいの頻度で集まります。いつもは5人くらいの顔ぶれが、試験前には10人を超えることもあります。アルバイトが終わる24時頃からスタートして、朝5時くらいまでひたすら勉強。その後はみんなで朝ご飯を食べるのが、とても楽しいです。



**A2.** カリキュラムや生活に慣れて余裕が出てきたので、家庭教師のアルバイトを始めました。「分かった」と言ってもらえるのがうれしくて、教える喜びを感じています。また、グループワークを通して違うコースの人たちとの交友が増えたり、授業で学んだスキルが役に立つ場面や授業間の関連性に気が付くようになって、毎日が発見の連続です。

**A3.** 一時期廃部になっていた陶芸サークルを、昨年公認サークルにすることができました。サークル長として仲間を率いる経験ができたこと、創己祭での初めての作品販売、キャンパス内にある茶室を茶道部とともに活用する試みなど、サークル活動を通してさまざまな体験を積み重ねることができました。いろいろな問題も起こりましたが、一人で抱え込むのではなく、人と相

談することの大切さも身にしみて感じました。  
**A4.** 2年生前期の「空間デザインA(シェルター)」です。私がこの学部を選んだ理由でもある名物授業で、6人が1グループとなって、雨をしのげるシェルターを木製の線材を使って制作します。先生にダメ出しやアドバイスをいただき、具体的な構造、施工方法などについて常にリアルな視点と想像力を働かせ、たくさんの模型を作り、設計図面を書き直して、必死に取り組みました。完成した時には、「やってよかった！」という大きな達成感がありました。

**A5.** 私たち建築デザインの学生が作ったシェルターです。暖かい季節には、お昼ご飯を食べたり、昼寝をしたり、くつろぐことができるお気に入りの空間です。

### コレ頑張っています

陶器作品を制作する陶芸サークルの代表をしています。先輩、後輩の垣根なく、お互いに教え合い、和気あいあいと活動しています。昨年の創己祭では、初めて作品販売を行いました。たくさんの人が購入してくれて、とてもうれしかったです。それぞれの作品にはメンバーの個性が表れており、とてもバラエティー豊かです。時には自分たちの器で食事をする「ご飯会」を開いて、おしゃべりを楽しんだりもしています。

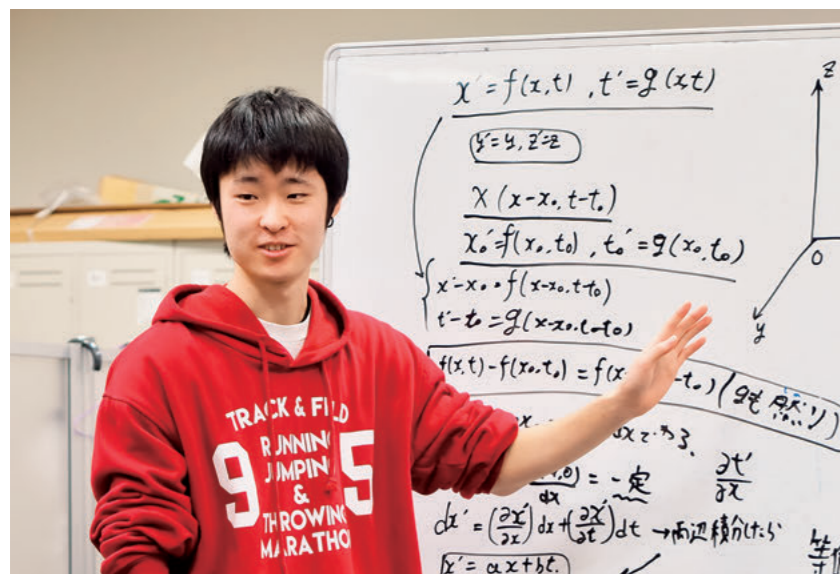


●冬は雪で大学に来るのが億劫になりますが、単位が取れるよう頑張って授業に出てください。 ●富山の冬は寒いから、冬服をいっぱい持ってくるといい。 ●大学は勉強しようと思えばいくらでも勉強できるし、逆に遊びまわると思えばとことん遊び尽くせます。どっちがいいとは言えませんが、勉強と遊びのバランスを自分で決めていくのは大変だけどとても大切なことだと、今感じています。卒業まで余裕があるように思いますが、その時間をいかに充実させるか。それがとても大切だと思います。

●キャンパス内の本屋さんは、割り引きされるので安く嬉しい。 ●睡眠をちゃんととろう。 ●食堂のメニューはたくさんあってあきません！カロリーがわかかって健康にもいい是非利用してください！ ●サークル、授業のこと、バイトなどは先輩のツテがかなり大事。色々教えてもらえるように仲良くなりましょう。

# 大学生活ってどんな感じ？

## 新入生のための大学生活Q&A



### 理学部

物理学科3年

菅野 聡さん

3年目

- 出身地：神奈川県
- サークル：大道芸
- 居住：アパート
- 通学：徒歩
- アルバイト：コンビニエンスストア
- 昼食：学食・外食派



My Select

大学前のラーメン屋さん  
が安くてボリュームがあって  
オススメです。

### 薬学部

薬学科5年

村山 咲さん

5年目

- 出身地：神奈川県
- サークル：軟式テニス部
- 居住：アパート
- 通学：徒歩
- アルバイト：飲食店
- 昼食：学食・外食派



My Select

大好きな軟式テニス。  
夏の大会には出ようかな？



A1.

- 9:30 起床
- 登校
- 10:30 授業
- 12:00 昼休憩
- 13:00 授業
- 16:00 勉強  
(ゼミ自主参加 or 自主勉強会)
- 18:00 サークル
- 21:00 アルバイト
- 1:00 帰宅
- 3:00 就寝

16:00



大学院生のゼミに、自分の希望で自主参加させてもらっています。

17:30



空き時間には、クリエイションルームで学科の友達と勉強します。

18:00



週2回のサークル活動。ジャグリングの腕がだいぶ上がりました。

**A2.** 2年生まではアルバイト中心の生活でしたが、3年生からは勉強中心にチェンジしました。先生の勧めで、有志が集まって学生だけで勉強する自主ゼミもしています。勉強したことを黒板に書いて順に発表するので、最初は緊張して大変でしたが、自分から進んで勉強する習慣ができてきました。また、サークル代表として新しい経験をたくさんできて、楽しい学生生活だったと思います。

**A3.** 昨年12月にサークル活動の一環として、富山市立図書館でのワークショップ「ジャグリング体験」に参加したことです。司書の方や富山大学の藤田先生と打ち合わせをしたり、子どもが物理に興味を持ってくれるような工夫をしながら、ジャグリングの道具を紹介するパワーポイントを作成したり、プロジャグラー

の方と交流練習会をしたりと、大忙しでしたが、達成感がありとても印象に残っています。

**A4.** 2年の「力学C」という講義で習った解析力学です。大学でないと習えないような、今まで考えたことも見たこともなかったような内容で、新しい視点を得ることができました。物理学科では3年次はまだゼミはないのですが、解析力学をもっと学びたくて、学科の友達と自主ゼミを行って勉強しています。今後も解析力学を用いた研究を続け、将来は場の量子論の研究者を目指しています。

**A5.** 物理学科の人なら誰でも使えるクリエイションルームです。勉強をしたり、友達と話したり、分からない問題や課題について話し合ったりと、学年の垣根なく有意義で楽しい時間を過ごせます。

A1.

- 6:00 起床
- 登校
- 8:30 病院実習 or 薬局実習
- 12:00 昼休憩
- 13:00 病院実習 or 薬局実習
- 17:30 下校
- 18:00 空き時間 or 勉強 or アルバイト
- 24:00 就寝

12:30



一息つきたい時に欠かせないアイスクリーム。生協では毎週水曜日になんと30% OFF!!



講座旅行で訪れた飛騨高山。企画は大変だったけれど楽しい思い出がたくさん!

**A2.** 半年にわたる病院実習と薬局実習を通して、実際の医療現場だからこそ学べたことがたくさんあって、とても充実した日々を送ることができました。患者さんや医療の場で働く方との関わりが増えたこと、さまざまな考え方に触れられたことは、大きな財産です。また、「より深い知識を身に付けて、患者さんの信頼に応えられる薬剤師になりたい」という、将来の具体的な目標もできました。

**A3.** やはり実習が一番印象的でした。分からないことばかりで大変でしたが、毎日新しい発見があってストレスは感じませんでした。それまであまり交流がなかった同期と、実習を通して仲良くなれたこともうれしかったです。日帰り講座旅行の企画も、苦労した記憶があります。子ども(教員のお子さんたち)から大人

まで限られた予算の中で楽しんでもらえるように考えるのは大変でしたが、楽しい旅行になりました。

**A4.** 有機合成化学を主に行う研究室で、より環境に優しい方法で酸化反応ができないかというテーマで、触媒開発の研究を行っています。在学中に廃棄物あまり出ない反応による酸化触媒を開発して、医薬品業界に貢献するのが目標です。遅くまで実験する日もありますが、今しかできないことだと思うと、頑張れます。

**A5.** 杉谷キャンパスの生協では、毎週水曜日にアイスクリームの割り引きがあります。それまでは夏にしか食べてこなかったのですが、富大に入ってからは冬の寒い日にも、つつい買ってしまいます……。

### コレ頑張っています



大道芸サークルでは、幼稚園や小学校、地域のイベントなどで「大道芸をやってほしい」と依頼が来ることもあるので、年に3回くらいの頻度で出演しています。出演する時にはBGMを探して、音楽に合わせた練習などを頑張っています。僕はボールとクラブを使ったジャグリングが得意で、家でもよく練習しています。イベントで練習の成果が出せて、お客さんから拍手をもらえると、とてもうれしいです。



### コレ頑張っています



薬学部では、3年生の12月初めに研究室の配属が決まります。研究室によって違いますが、私の所属する研究室では、4年生になると各々に研究テーマを与えられ、先生とディスカッションしながら研究を進めていきます。分からないことは先輩に聞いたり、アドバイスをもらったりすることもあります。講座旅行や新年会などの行事もあり、研究しやすい雰囲気です。



# 大学生活ってどんな感じ？ 新入生のための大学生活Q&A

## 富大1年生座談会 & SNSアンケート

五福キャンパス  
おすすめメニュー付き！

### 学部を選んだ理由は？

**上埜** 都市デザイン学部は新しくできた学部なので、「一期生になれる」というのが大きな魅力でした。また、私は工業高校の建築科出身なのですが、「建築だけでなく土木などいろいろなことを学びたい」と、高校在学中からずっと思っていました。都市デザイン学部はコースが分かれることなく、いろいろな分野のことを幅広く学べるカリキュラムが整っていたので、私の希望にピッタリでした。



都市デザイン学部  
都市交通デザイン学科1年

上埜 由美子さん  
出身地：富山県



大人気の  
温玉ネギト口丼

**宮坂** 小さい頃から好きだった映画やアニメなどのエンターテインメント作品は、電気機器を通して見たり聞いたりします。将来は、そういう機器を開発したいと思い、工学部を選びました。

**榊原** 高校の恩師の影響で、将来は高校教師になりたいと思っています。また、歴史が好きな

ので、教職が取れて考古学を学べる人文学部を選びました。入学してからいろいろコースの話や聞く機会があり、倫理学や東洋史について興味が出てきました。私の好きな古文も歴史も倫理も学べるのが哲学生命学コースですが、今は倫理を中心に学びたいと思っています。

**齋藤** 高校の時に、「福祉の分野に携わりたい」と思っている調べたところ、人間発達科学部は、社会福祉士の資格が取れることを知りました。将来は社会福祉士になって、支援を必要とする人の生活を支えたいと思っています。

### 教養教育についてどう感じた？

**上埜** 「地域ライフプラン」の授業で、他学部の人たちとグループワークをした時に、芸術文化学部の人の発想力に感動したり、医学部など他学部の人たちと話したり、いろいろな経験ができました。これも、教養教育一元化のおかげだと思っています。

**宮坂** 中学の頃から法律や哲学に興味があって、マイケル・サンデル著『これからの「正義」の話しよう』を読んだりしていました。教養教育では、工学部にいたら絶対受けられないような、法律や哲学の授業を受けられて、とても楽しかったです。

**榊原** 理系は不得意なので、自然科学系などの理系科目も取らなくてはいけなくて、最初は心配でした。でも、受けてみたら結構面白くて、分からないところは先輩や先生、他学部の友達に聞いたりして、つながりができたことも良かったです。

**齋藤** これからの福祉でより大切になってい

く人権と福祉や、尊厳死について授業を受けられたことが良かったです。専門授業に入る前に知識の土壌ができました。また、他キャンパスの人たちとの交流も、大きな収穫でした。中でも、医学部の人たちとの話し合いからは、学ぶことがたくさんありました。



工学部 工学科  
電気電子工学コース1年

宮坂 拓海さん  
出身地：富山県



鶏からポン酢は絶品

### 初めて富山で暮らしてみた感想は？

**榊原** 二次試験で初めて富山に来た時、ちょうど大雪の日で、雪の中から自転車のハンドルだけのぞいているのを見た時「怖い！」と思いました。こちらに住んでみて、海風が強くて寒い地元愛知と、雪が降って寒い富山との違いを感じています。でも、今年は雪が少なくホットしました。夏は、コンクリートジャングルの名古屋よりも、富山の方が涼しくて過ごしやすいです。

**齋藤** 湿度が高くて、乾燥しないので過ごしやすいですね。それに、初めて来た時に水道水が

### 富山県ってどんなところ？ 富大の新しい教養教育(※)ってどうだった？

大学生活や県外出身者の富山での暮らしなど、学生たちのリアルな声を聞いてみました。

※ 2018年度より、全学部1年次の教養教育を五福キャンパスに集約し、学部の壁を越えた“新”教養教育が始まりました。

おいしくてビックリしました。僕の地元静岡は暖かいと思われがちですが、浜松寄りなのでとても風が強くて寒いです。雪は降りませんが、体感温度はあまり変わらない感じでした。

**榊原** お魚など、食べ物がすごくおいしいです！ 愛知ではお刺身はぜいたく品で、あまり食べません。食べ物の面では、全くホームシックを感じないですね。

**齋藤** 受験が終わった時に、奮発して刺身丼を食べたら、静岡のものとは違った魚で、とても珍しくておいしかったです。また食べに行きたいと思っています。

**榊原** 金沢が近くて、遊びに行くにも便利です。それに、キャンパスの周りに友達の家がたくさんあるので、よく行き来しています。愛知県出身の人も多くて心強いし、他県出身の人たちともすぐ友達になれました。

**齋藤** サークルに静岡の人が何人かいて、話ができるので心強いし、すぐに友達もできました。五福は学生街なので家賃も安いし、友達が皆キャンパスの周りに住んでいるのでいいですね。僕の下宿先は大学のすぐそばなので、友達に来てもらって遊ぶことが多いです。

### 富山大学の印象は？

**上埜** 入学する前は、「富山大学＝地元の国公立大学」という認識でした。入ってから、いろいろな考えを持った人が大勢いて「さすが総合大学！」という印象が強くなりました。高校の頃は、工業専門の単科大学に入ることも考えていましたが、富山大学で歴史や法律など、私の専門外のことを学ぶ人たちと出会ったことで、

視野が広がりました。

**宮坂** 母が富山大学の卒業生なので、大学の話はよく聞いていました。入学前は、母の代からある大学なので、「建物は古いのかな？」と思っていたら、ガラス張り自然光が降り注ぐ、おしゃれで新しい建物が多く、オープンで明るい雰囲気を感じるので、とても居心地がいいです。



人文学部  
人文学科1年

榊原 麻友子さん  
出身地：愛知県



フェアのメニューは  
つい頼んでしまう

**榊原** 入学前は「コースがいっぱいあって、面白そう」と思っていました。入学後は、いろいろな学部の人たち、特に自分の興味がある学問について、目を輝かせて話してくれる“熱い”人たちと出会うことができ、いい刺激を受けました。高校の頃より、学問についてハイレベルな話ができるので、とても楽しいです。また、私と同じく先生を目指す人もいて、将来のことについて話し合えるのも心強いです。

**齋藤** 富山という土地に初めて来た時は、雪や

気候についてよく知りませんでした。自分にとって、静岡から離れて違う土地に来たということは、とても大きかったです。富山は、「知らない場所、知らない世界への初めの一歩で」、「どこに行っても面白い土地がある」と気付けた場所でした。富山市だけでなく、行ったことがない地方に行くのも好きで、夏休みには、地域連携戦略室に紹介していただいて、利賀村の演劇祭にイベントスタッフとして参加しました。熊のお肉を食べたり、演劇を見たりして、「こういう世界があるんだ！」と、毎日が発見の連続。知らない世界の扉が開いた夏でした。僕にとって、「遠い所でも、あえて足を運んでみると、これまで知らなかったことに出会える」と、気付かせてくれたのが富山大学です。今後も、富山独自の地域性を生かしながら、自分の活動ができた方がいいなと思っています。



人間発達科学部  
発達教育学科 発達福祉コース  
社会福祉サブコース1年

齋藤 薫さん  
出身地：静岡県



メニュー豊富な小鉢と  
生協牛乳は外せない

## SNSアンケート

「地域ライフプラン」  
富山県の様々な地域の方からお話を聞くことができます。将来の自分の道を考えるきっかけにもなります。

音楽系の部活に所属しています。定期演奏会に向けての練習は大変だけれど、終わった時には感じたことのないような達成感を味わえました。

「ドイツ語」  
授業で鑑賞した映画を通して、ドイツと日本の言葉や文化の違いを楽しく知ることができました。

「有機化学I」  
高校の時に習った有機化学とは違い、より詳しく、専門的な視点から有機化学について学ぶことができ、大変有意義でした。

「言語と文化」  
日本の方言や文化をメインとする講義なのですが、自分のふるさとを特徴的に表しているポスター・オブジェなどを撮影し、提出するといった課題が面白かったです。

部活で先輩方に可愛がってもらって、ご飯や遊びに誘ってもらって楽しかった。

とにかく遊ぶのが楽しかったです。初めての一人暮らしで自由気ままに遊べて、友だちといろんなところに行きました。

「ジェンダー」  
LGBTのことや女言葉など、教養の科目ですがとても考えさせられる内容でした。

「現代社会論」  
今、世界中で起こっている政治的・宗教的な問題を詳しく分かりやすく知ることができ、びっくりすることたくさんあります。林夏生先生の講義はどれも面白い。

「生物学I」  
NHKのビデオを観て地球の歴史について学ぶことが楽しかったです。また、睡眠日誌というものをつける課題があり、自分の睡眠時間を毎日記録することに興味深さを感じました。

## 富大1年目の

# よろこび vs かなしみ

面白かった講義・課題や楽しかったこと

寝不足で講義中に寝てしまった

1年生のときの失敗談



五福から杉谷までの地鉄バスがとっても混んでいて、乗れないときがある。雨や雪の日は一本早めのバスに乗るつもりでいかないといけない。

集中講義に行き忘れた

サークルに杉谷入ろうと思ってあちこち顔を出していたら結局1つしか続けられませんでした。2つ3つ程度に絞って、最初の頃に集中的に参加していればよかったなと思いました。

学科の友達を作るタイミングを逃して、話せる子がいまだに数人しかいません。オリエンテーションの時など、沢山の人の声をかけることをおすすめします。

大学のテストは簡単と思いついて単位を落とした…

髪の毛を染めたら明るすぎて似合わなかった。

入学して間もない頃、地域スポーツコースを専攻しようか迷っており、そのコースの授業を履修していませんでした。結局2年前期に、本来1年前期で受けるはずだった授業を履修しなければならなくなり、毎日毎日実技の授業… 楽しいですが、少し疲れるし、座学が眠くなってしまいました。

バイトは、知り合いからの紹介で、良い噂のところにすることをオススメします。

バイトを入りすぎた

生活費は親に頼らず自分でなんとかしようと思っていましたが、お金が足りず苦しい生活を強いられました。親は頼りましょう。

履修登録の期限を間違えてしまった。大学ではなんでも自己責任なので、しっかり確認することが大事です。

もう少し学生生活や授業リズムに慣れるまではと、1年の時は継続的なアルバイトをあまりしなかったことです。学生にしかできない経験は早めに、進んでやってみることも必要だなと感じました。

時間がたっぷりあるのに、SNSやネットに費やしてばかりでした… 外に出て色々なところに足を運ぶといいと思います。

部活中心の生活をしていたらテスト勉強をおろそかにしてしまい再試験だらけに… 杉谷キャンパスは図書館が24時間空いているので、部活も頑張りつつ適度に勉強してください。

彼女作りそびれました

レポートを締め切りギリギリに書き始め、翌日に部活の大会があるにもかかわらず、徹夜をしてしまいました。レポートは計画的に余裕を持って!!

## 人文学部

### 中井精一教授のゼミに所属する学生たちが餅つきを体験

1月18日、方言を研究する中井精一教授のゼミに所属する学生たち17名が砺波市定住体験施設「佐々木邸」で、杵と臼を使う昔ながらの餅つき体験をしました。これには留学生たちも参加し、地元の方の指導で「よいしょ」の掛け声とともに餅つきを楽しみました。餅をまるめたり、ちぎって枝につける「餅花」をつくったりして、伝統行事の理解を深めました。人文学部と砺波市は2017年に連携協定を締結しており、今後さらに地域文化の振興や人材育成で協力していくことを目指します。



## 経済学部

### 「インバウンドを含む富山湾観光に寄与するお土産」について提案

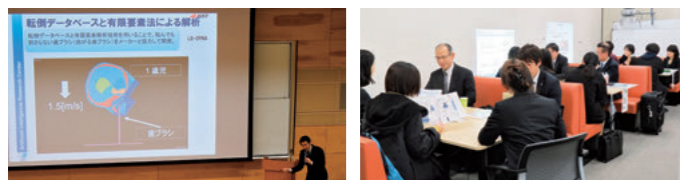
1月30日、経営学特殊講義「地域観光資源の活用演習」の最終回として、「美しい富山湾をさらに魅力的にする提案」と題し3チームの学生がそれぞれに考案した「お土産」のプレゼンテーションを行いました。この授業は富山湾の魅力向上を目的に設立された「美しい富山湾クラブ」の協力の下、観光戦略に詳しい企業を訪問したり、講師を派遣してもらったりしながら進められてきました。学生達の提案に審査員からの鋭い質問が飛び、試食、審査の結果、「薬膳だんご」が最優秀提案となりました。



## 工学部

### ファーマ・メディカルエンジニア(PME)養成プログラム第5回公開シンポジウムを開催

2018年12月19日、「ファーマ・メディカルエンジニア(PME)養成プログラム第5回公開シンポジウム～地域の医・薬産業を支える技術人材交流を目指して～」を開催しました。第1部では産業技術総合研究所の富井氏の特別講演が行われ、第2部では「社会・地域が求めるファーマ・メディカルエンジニアリングの展開」のテーマで、富山県立大や、本学の教員による発表が行われました。第3部の産学交流会では「先輩による就活体験トークコーナー」、「PME関連企業紹介コーナー」など先輩履修生や企業の方から直接就職へのアドバイスを受けられる機会が設けられました。



## 人間発達科学部

### 松山駿さんが富山グラウジーズに特別指定選手で加入

人間発達科学部4年の松山駿さんがバスケットボール男子Bリーグの富山グラウジーズに特別指定選手で加入することになりました。特別指定選手は若手育成を目的にした制度で、松山さんは大学に在籍したままBリーグの公式戦に出場することになります。松山さんは富山グラウジーズの公式ホームページを通じて「ルーキーらしいプレーでチームの勝利に貢献できるよう頑張りますので、応援よろしくお願ひいたします!」と意気込みを語りました。



## 理学部

### 折り紙ワークショップを開催

2018年11月23日、24日、水墨美術館エントランスにおいて数学科の川部達哉准教授と学生らによるワークショップ「体験!超絶折り紙」が開催されました。チューリップテレビ主催で開催された水墨美術館の展示イベント「驚異の超絶技巧!明治工芸から現代アートへ」の一環として協力して開催されたものです。両日とも多くの人で賑わい、子供から大人まで折り紙体験を楽しまれました。展示作品や体験を通して、地域の皆様にも折り紙の世界の広がりを感じてもらえたようです。



## 都市デザイン学部

### 中央図書館のライトアップを実施

2018年12月25日から2019年1月31日まで中央図書館のライトアップを実施しました。都市・交通デザイン学科1年生が、学生自主プロジェクトとして2018年11月から企画、デザインを検討し、実施したものです。ライトアップでは、中央図書館入口、ロータリーの大樹などに、約1万個の青、白、緑のLEDを使用してホタルイカの身投げや立山杉などの富山の風景を表現しました。今後もプロジェクトの企画から実施を通して、富山大学や富山の魅力を伝えるとともに、学生自らの課題解決に対するスキルアップを目指します。



## 医学部

### 平成30年度富山大学医学部Student Doctor認定証授与式を開催

2018年11月26日、杉谷キャンパスにて「平成30年度富山大学医学部Student Doctor認定証授与式」を開催しました。臨床実習参加の可否を判断する筆記試験と実技試験に合格した医学部医学科4年生103名に、Student Doctor認定証が授与されました。式では附属病院長や医学部長から学生へ向けて激励の言葉が送られ、学生代表から「誓いの言葉」の宣誓がありました。本学生達は、現在、附属病院や関連教育病院での臨床実習を行っています。



## 芸術文化学部

### 芸術文化学部チームが「東海・北陸地域ブランド総選挙」決勝戦で「発信賞」を受賞

2018年12月12日に愛知県で開催された「東海・北陸地域ブランド総選挙」決勝戦において、高岡銅器の魅力発信のため、スズや銅器を利用した提案・プレゼンテーションを行った芸術文化学部のチームが「発信賞」を受賞しました。「東海・北陸地域ブランド総選挙」は、地域の魅力を若い感性で掘り起こしてもらおうと特許庁などが主催し、決勝戦では予選を通過した10チームが、新しいビジネスのアイデアなどについて発表を行いました。



### 平成30年度ALL富山COC+シンポジウム「地域創生inTOYAMA2018」を開催

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」推進の一環として、2018年12月18日、富山国際会議場において、ALL富山COC+シンポジウムを開催し、県内外の高等教育機関、地方公共団体、企業等の関係者や学生など、あわせて240名が参加しました。シンポジウムでは、神戸大学大学院経営学研究所の服部泰宏准教授による地方企業の採用に関する基調講演や、富山大、県立大、富山国際大が中心となり3つのテーマで分科会を行いました。



基調講演を行う服部准教授

シンポジウムの様子

## 薬学部

### 富山市長による就職ガイダンスを実施

1月22日、杉谷キャンパスにおいて、富山市長の森雅志氏を特別講師として招いた就職ガイダンスが行われました。森市長は、「コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築」と題して、人口減少や超高齢社会などの課題と施策、実績を、ユーモアを交えて紹介されました。参加者は、森市長のテンポの良いお話に聴き入っていました。このガイダンスは、学生が卒業後、富山で活躍するきっかけとなるように企画したもので、薬学部生ら約280人が参加し、富山市の住みやすさや魅力に理解を深めました。最後に森市長と共に出席者全員で記念写真を撮りました。



講師を務める森市長

## 附属病院

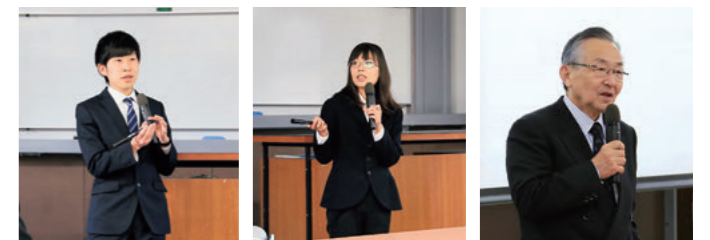
### 富山大附属病院臓器・胆道センター市民公開講座を開催

2月3日、富山大附属病院臓器・胆道センター市民公開講座を開催しました。臓器・胆道疾患は、診断・治療が大変難しく、全国的に見てもこの分野の内科・外科の専門家がそろっている施設はほとんどありません。本院では、臓器・胆道センターを設置し、各領域における専門家が共同で、専門的診断・治療にあたっています。公開講座では、順天堂大学の齋浦明夫教授による特別講演、本院の医師による講演、参加者からの質問に答えるパネルディスカッションから、臓器がん・胆道がんの最新の診断・治療について学んでいただき、337名が参加しました。



### 富山大学基金事業学生海外留学支援プログラム「奨学生帰国報告会」を開催

1月30日、五福キャンパスにて富山大学基金事業学生海外留学支援プログラム奨学生の帰国報告会が行われました。報告会ではカナダ、ロシア、台湾に留学した学生3名から、留学における成果について報告があり、その中で支援に対する謝意が述べられました。また、カナダに留学した学生から、「留学の経験はプライスレス。ダイヤの原石があっても磨くものがないと輝かないように、ツール(言語)は中身と同じくらい大事。」と留学を考える学生にエールが送られました。



学生の発表の様子

遠藤学長の講評

# さまざまなアプローチを行う。大地の歴史が宿る石へ、

石は重くて硬く、彫刻には困難と長い時間が必要になる。また石そのものには、人間には想像できないような長い時間と、大地の歴史が宿っており、それらが石の彫刻の魅力だと平田講師は語る。

近現代の彫刻においては、彫りやすく美しい大理石や花崗岩を用いることが主流となっている。しかし、日本に「美術」の概念が輸入された明治より前の時代の石仏などは、身近な石を彫るのが普通だった。平田講師は、自然と人を不可分のものとして捉える日本人の感性に着目し、その土地と縁の深い、身近な石に関心を寄せて制作を続けている。

日本で採取できる身近な石の場合、崩れやすいためノミで彫ることはできない。そのため、「星取り器」という器具を用いて、原型から無数のポイントを石に転写して、形を写し取る「星取り法」を使う。ポイントされた石を、少しずつグラインダーやリユーターで削っていくと、複雑な形でも割れることなく再現できるという。

このように、彫るのが難しい石を使い始めたきっかけは、海外からの輸入に費用がかかる大理石を使うことへの疑問だった。五箇山の出身だった平田講師は、地元の川にいろいろな石がゴロゴロしているのを見て、その種類の多さ、表情の違いに気付く。そして「身近な石を使うのが自然ではないか？」とひらめいたのが、研究の原点になった。

また、「石の可能性を知りたい」というアプローチから、2015年「原始感覚美術祭」では、石の重みを体感するため、一人で花崗岩を運んで積み上げるという展示を、同じく2015年「神通峡美術展」では、鳥海山石と鉄の棒を組み合わせた表現にチャレンジした。

## 石の可能性を知るため 全国の石を採取、彫刻を続ける

「石をよく観察し、知ることで、表現素材としての石の可能性が明らかになる」との考えから、2009年から日本全国の石について研究を開始。地中深くでさまざまな変化を遂げた「変成岩」を中心に、北海道から沖縄まで各地で百数十種の石を採取、彫刻を行うという研究を続けている。



① Microcosm 領家帯の泥質片岩 18-1 (2018年) 撮影:谷岡 康則  
② 森石 (原始感覚美術祭2015年)  
③ 仮設の庭 松林 (神通峡美術展2015年)  
④ 「石の回廊」シリーズ (2017年)

2013年に富山大学芸術文化学部に着任、2014年から、都市デザイン学部で地質学を研究している大藤茂(おおとう しげる)教授と共同研究を行うことで、より学術的、地質学的な視点を得られた。

2017年、研究のアウトプットとして行った展覧会「彫刻における石の回廊、未踏の」では、作品に使われた石の解説文を大藤教授に依頼。地質学研究で得られた石の成り立ちや、ガンダーラの石仏に使われている石との比較などの解説が、展示された彫刻作品に奥行きを与え、大変興味深いものとなった。

この展覧会では、日本各地で採取した石に、その地域に関係する人の左耳を彫った。左耳をモチーフにしたのは、一説に「人が死ぬ時に、聴覚は最後まで残る感覚である」と言われていることから、この世とあの世、前生と今生をつなぐものの象徴としてのイメージを託したからだと言う。

今後は、星取り技法による彫刻の可能性を追求しながら、いったん空っぽになって、もう一度大きなテーマについて考えたいと語る。それは、「世界がどのようにしてあるのかを自分の目で見てみたい」ということ。ずっと温め続けたテーマへの、新たなアプローチを考えている。



### 変容する世界を作品として現出させる

仏教では、すべてのものは変化を続ける一様態としてあるという「諸法無我」の考え方があり、不変のものとして見える石も流動している姿であり、日本列島ができる前にできた石も、長い時間の中では一瞬の姿ではない。美術を通して、「認識の向こう側」へのアプローチを考える。

日本全国の石を採取  
石の可能性を研究

芸術文化学部 芸術文化学科  
講師

平田 昌輝  
ひらた まさき



### ● 座右の銘 ●

悩むより、前向きに  
考えるとうまくいく。

悩みがある時、ポジティブに考えるように心がけています。良い方に考えているうちに、時間が解決してくれます。



## キラリ輝く 富大生

「富山大学医学部薬学部ギターマンドリンクラブ」で  
パートリーダーを経験

#04 富山大学 医学部看護学科3年  
北村 美和さん

### 心を一つにして作り上げる演奏会。 パートリーダーとしてメンバーをけん引。

「富山大学医学部薬学部ギターマンドリンクラブ」では、毎年の定期演奏会のほかに、5年ごとに記念定期演奏会を開催しています。昨年秋の「第40回定期演奏会」は、現役最上級生である私たち3年生が企画して、卒業生の方々に参加をお願いしたほか、マンドリン奏者として活躍中の堀雅貴さんに新たに曲を作ってもらって初演するという、二つの試みを行いました。

作っていただいた曲は「Primrose」。「青春」を大きなテーマに、「入部してからさまざまな困難を乗り越えて、今、皆で演奏している」というイメージで作曲していただきました。最初に音源を聞

いた時、「なんてきれいなメロディー。この曲を初演できるなんて光栄なことだ!」と、感動しました。皆で心を合わせて、半年間で仕上げた思い出の一曲です。

練習では新入生に基礎から教えますが、言葉だけで伝えるより、実際に一緒にやってみることで伝わりやすくなります。この体験が、看護師として患者さんに接する上で役に立つのでは…と、思っています。

将来は、病気に対しての看護だけでなく、患者さんの生活に寄り添って、闘病生活が明るくなるようにアプローチしていける看護師さんになりたいと思っています。

## Tom's Circle

各キャンパスでいきいきと活動する  
クラブ・サークルをピックアップ!

クラブ・サークル紹介

### 劇団ふだい



「劇団ふだい」は富山大学に所属する演劇サークルです。活動内容として、私たちは年4回の公演を行っています。練習は月・火・金の週3日、それに加えて公演の練習期間中は木・日の午後7時から9時まで行っています。役者志望はもちろん、脚本や衣装作り、照明や音響の仕事といった裏方をやってみたい! という方もどしどし募集しています。

これを見て演劇に興味を持った方はぜひ一度練習場所を見学しに来てください。団員一同歓迎します。そして一緒に楽しく演劇をやってみよう!

4月の頭に春の公演を行うのでそちらも見に来ていただいて入団の参考にいただけたら幸いです。



### 高岡キャンパス写真部 タカシャ



こんにちは! 高岡キャンパス写真部「タカシャ」です。写真技術や感性の向上、写真を通じた人々の交流や社会貢献を目的としています。現部員3名と小規模ですが、どんどん規模を大きくしていきたいな。

活動は月一回の批評会と年一回の作品展。前者は自分の写真を持ち寄り、意見や感想を述べ合う集いです。後者は作品をたくさんの人に見てもらえる機会です。どちらも強制ではないので、兼部も簡単。また、撮影会に出掛けたりもします。

キャンパスの区別なく部員大募集なので、気になる方、質問等ある方はお気軽にご連絡ください。カメラがなくても大丈夫です!  
mail: geibunphoto@gmail.com  
twitter: @geibunphoto





勤務先：KUROBE アクアフェアリーズ  
(北星ゴム工業所属)  
卒業年月：平成27年3月  
人間発達科学部  
人間環境システム学科 卒業  
ひら たり な  
**平谷 里奈**さん

## 富山県をスポーツで熱く。

私は現在富山県の黒部市を拠点に活動するVリーグチーム、KUROBE アクアフェアリーズに所属しています。今シーズンからV1リーグへ参入し、更に厳しい戦いに挑戦するべく日々精進しています。

V1リーグではまれですが、私たちは、それぞれの企業に所属し、午前勤務し、午後から練習に励んでいます。大変な部分もありますが、会社や地域の方々の応援の熱に励まされています。県外へ応援ツアーを組んで来てくれたり、横断幕を作ってくれたりしました。また、体育館で試合に負けてしまった次の日にランニングをしていたら、「アクア頑張れ！」と地域の方が、厳しい声も時にはありますが、温かい声援に背中を押されます。私は人の心を動かすことができることに誇りを持ち、

今を大切に、今後も精進していきます。小学校から続けているバレーボールですが、今思えば、一番自分を熱くさせてくれるものであり、多くのことを学ばせてくれるものだから、今もなお挑戦し続けているのだと思います。

富山大学時代では、学業はもちろんですが、地域スポーツコースでの実習、実技、また部活動にも力を入れて取り組みました。周りからは部活なんてと思われがちかもしれませんが、それぞれの目的で集まった仲間と、一つのことを成し遂げようとする力、自分のカラーを出すことができる仲間と切磋琢磨する時間は社会において大きな財産となり、自分の強みになると実感しています。今を大切に自分のこれだけという武器を磨いて前向きに挑戦していきましょう。

Now on Campus

## キャンパスの今

3キャンパスのイベントの様子や、学生の日常生活、キャンパス風景、キャンパススポットを紹介。



高岡  
キャンパス

芸術文化学部総務課学務チーム  
岩崎友紀さん

芸術文化学部総務課学務チームでは芸術文化学部での学生生活全般の支援をしています。履修、実習などの他にも、奨学金、学生保険などの手続きも行っています。



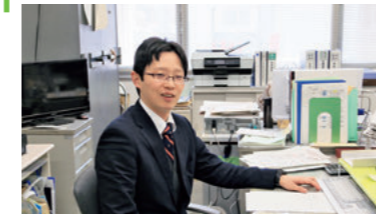
杉谷  
キャンパス



医薬系学務課 柳瀬かおりさん  
医薬系学務課は医学部と薬学部の学生生活全般の支援を行っています。講義、実習だけでなく、サークル活動、奨学金など様々なことを扱っています。

勉強のこと、サークルのことなど  
何か分からないことがあったら  
まずカウンターへ!

いつでも  
お待ちしております!



理工系学務課 谷本和也さん  
各学部の窓口は学部の講義全般の手続き、住所変更などの窓口です。私は教室管理や掲示物の管理、各種行事の準備・運営、証明書の発行の担当をしています。



教養教育支援室 横川和哉さん

1年生は教養教育の講義を中心に履修します。教養教育支援室では、教養教育に関する手続き全般を担当しており、教養教育の講義の履修や試験日程等に関する質問にも答えています。



学生支援課 若月孝人さん

学生支援課では、奨学金、授業料免除、学生寮、課外活動(部・サークル活動)、学生保険(学研災・学研賠)などの学生生活全般の支援を行っています。

五福  
キャンパス



# HELLO

●各界で活躍する先輩からのメッセージ

## ハロー先輩

## 一生モノの4年間を楽しんでください。

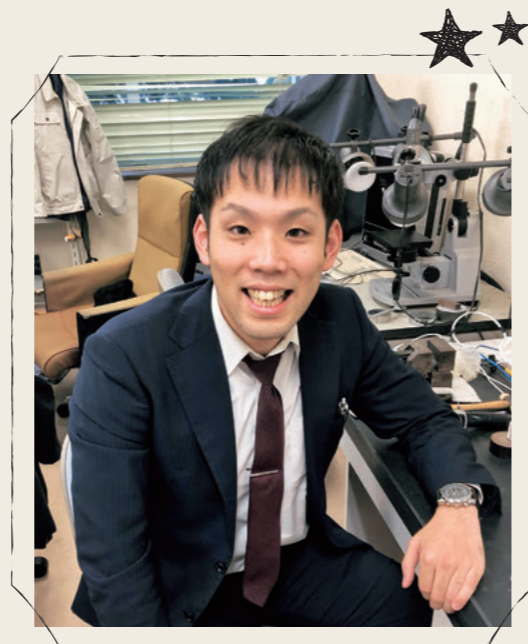
私は富山大学工学部機械知能システム工学科を卒業し、現在、富山大学理工学研究部の助教として先生をしています。研究の内容としては、ものづくりの研究を行っています。これまでは学生として、今は先生として学生と一緒にものづくりの楽しさや加工の難しさを勉強しています。

学生生活を振り返ると、勉強と部活ばかりで自分の好きなこと、興味のあることにすく打ち込んだ学生生活でした。大学入学前からものづくりに携わる仕事がしたいと考えていたこともあり、やりたいことを勉強できることがとても楽しく感じました。

私が楽しい学生生活を送れたのは友人や先生との出会い、両親の応援があったからだと思います。研究や人間

関係が上手くいかなくてしんどいときや辞めたいと思うときに自分の身近な人に支えられて、勉強や研究、新しく挑戦することに一生懸命になれたと思います。私の場合は特に指導していただいた先生からの助言にすく助けてもらいました。私も学生に対して真摯に向き合って、学生が楽しい大学生活だったと思ってもらえる先生になりたいと思います。

最後に、大学生活の4年間は自分の時間を比較的自由に使える時期だと思います。その中で、勉強やアルバイト、サークル活動など4年間で経験されたこと、そこで知り合った人達は一生モノです。自分の好きなことや新しいことに積極的に挑戦して自分の視野や可能性を広げて欲しいと思います。



勤務先：富山大学 大学院理工学研究部(工学)  
卒業年月：平成25年3月  
工学部 機械知能システム工学科 卒業  
(平成27年3月 大学院理工学教育 機械知能システム工学専攻修了)  
(平成30年3月 大学院理工学教育 数理・ヒューマンシステム工学専攻修了)

ふな づか たつや  
**船塚 達也**さん

File  
02



## メールアンケートのお願い

富山大学広報誌「Tom's Press」の今後のより良い誌面作りのため、皆様からのご意見やご要望をお待ちしています。本号のアンケートにご協力いただいた方の中から、**抽選で3名様に「富山大学ロゴ入りフリクションボールペン(3色セット)」**を進呈いたします。そのほか、アンケート回答者全員に記念品をお送りいたします。



富山大学  
ロゴ入り  
フリクション  
ボールペン  
(3色セット)

抽選で**3**名様

### 【回答項目】

1. 本誌を読んだきっかけ(「〇〇(施設名)に置いてあった」など)
2. 本号で興味を持たれた記事とその理由
3. 誌面内容、構成、表紙デザインなど全体的な感想または印象
4. 関心・興味のある分野、これから取り上げてほしいテーマ、その他ご意見・ご要望
5. 年齢・性別
6. (プレゼントをご希望の方)お名前、ご住所

【メール送付先】 catch@adm.u-toyama.ac.jp

【ハガキ送付先】 〒930-8555 富山市五福3190 富山大学 総務部 広報担当

回答項目1~6について、メール本文又はハガキに記載の上、上記宛先までお送りください。

<プレゼント応募締切> **2019年5月20日(月) 必着**

※ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送以外には使用いたしません。また、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

facebook

twitter

Google+

富山大学チャンネル YouTube

富山大学公式SNS  
新着情報やニュースを発信しています。

